

**令和5年度 第3回北杜市公共施設等総合管理計画等検討委員会**  
**《議事要旨》**

- 1 開催日時 令和6年2月19日(月) 13:30~15:10
- 2 開催場所 北杜市役所 北館3階大会議室
- 3 出席者 [委員] 藤原真史、小川昭二、矢野 望、船木 良、  
村田 茂、鈴木良長、深澤文長、片田 興(敬称略)  
[市役所] 市長 上村英司  
副市長 小林 明  
教育長 興水清司  
北杜未来部長 宮川勇人 企画部長 中田治仁  
総務部長 小泉雅人 市民環境部長 三井喜巳  
こども政策部長 大芝 一 産業観光部長 加藤郷志  
建設部長 齊藤乙巳士 教育部長 加藤 寿  
上下水道局長 小尾正人 財政課長 城戸潤子  
[事務局] 政策推進課長 進藤修一  
政策推進課 行政改革担当 日向重貴、有賀 翼、堀内 健
- 4 欠席委員 白倉美奈子委員、小野光一委員
- 5 会議録署名 深澤委員、片田委員
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍 聴 傍聴5名、報道2名
- 8 議 事
  - 1) 開会
  - 2) 委員長あいさつ
  - 3) 市長あいさつ
  - 4) 議題
    - (1) 北杜市公共施設個別施設計画(素案)について
    - (2) 北杜市公共施設個別施設計画策定における提言書(案)について
    - (3) その他
  - 5) 閉会
- 9 会議経過
  - 1) 開会 [13:30]
  - 2) 委員長あいさつ
  - 3) 市長あいさつ
  - 4) 議事

## 議事

### (1) 北杜市公共施設個別施設計画（素案）について

委員からの意見要旨は以下のとおり。

- 施設を削減しないと予算がかかるという書き方は読むほどに将来に対して不安が大きくなる書き方である。合理的な管理運営や削減をすることで、より便利に使い易くなるということも示していただきたい。それにはインフラに関して、今後、中部横断自動車道と中央線、その他の交通を整備することで利便性が上がるという内容がほしい。学校についても数を減らすのであれば、スクールバスやその他の交通手段がどのようになるのか、内容によっては「予算が増えるのではないか」とパブコメにもあったが、バランスをしっかりとっていただき市のまちづくりのイメージを保った形で進める必要がある。

(回答)

計画を周知するためにインフラ等を踏まえた中で、マイナス面ばかりではなくプラスの要素を入れながら検討していく。施設の削減にあたっては交通インフラも踏まえていく必要がある。

- 図書館適正配置等検討委員会からは図書館は3館がよいという提言をいただいた。パブコメでは、図書館は8館そのまま残してほしいという意見などが多く出てきている。このパブコメの意見は、具体的に個別施設計画の中に文言として残るのか。また、意見に基づいて数値や内容を変えたのか、説明いただきたい。パブコメの図書館に関する意見については、事務局で「対応と考え方」という形で答えているが、意見をされた方についてはコメントをする場はあるのか。

(回答)

パブコメで多くのご意見を頂いた。図書館の数に関しては新・行政改革大綱に定められているため見直しは難しく、これまでの方針通りとする。ご意見に対する回答は、まだ公表をしていないが、委員の皆様に見ていただき、ご意見を頂き調整したものを3月頃ホームページに公表し、それを以って回答とする。

- これまで図書館に関しては、適正配置等検討委員会から3館という意見が挙がってきており、前回の検討委員会の中で事務局から「図書館の再編によって利便性は大きく損なわれないと考えている」という回答を頂いたので安心した。パブコメを見ると、「利便性が損なわれるのではないか」という内容が多くある中で、事務局側の利便性が損なわれないという考え方と市民側の損なわれるという考え方に乖離が見られるが、この乖離をどのように埋めていくのか。

(回答)

図書館については、令和5年10月16日に実施した「市長と語る会」でも再編を心配される意見を頂いた。図書館適正配置等検討委員会において、今後の図書館のあり方や事例等も踏まえた中で、本市にとってどのような図書館のあり方が相応しいかを検討いただき、3館に集約し、残りの5館は地域の活動の場、居場所機能としてのコミュニティコモンズとし、地域活動の拠点という性格を持たせ再編するのが望ましいという提言を頂いた。提言を実現させていく上では、サービスの低下が極力生じないよう努めたい。例えば、今までは8箇所の図書館で図書の貸出が出来ていたが、機能再編により出来なくなることを避けるため、5つのコミュニティコモンズに

においても予約した図書の受取や返却は可能にする予定である。「市長と語る会」を通じて、図書館の再編については説明してきており、再編を心配される方々から、近くに図書館が無くなると気軽に立ち寄れる場所が無くなるというご心配をされる意見もあったが、従来の図書館に加え5つのコミュニティコモンズにおいては、地域活動の場ということで誰もが利用できるような場所という位置付けで運営を行っていくので、懸念事項を払拭し、市としても周知に努めていく。

- 私の故郷では中学校の統廃合があり、廃校とせずとも休校とするなど様々な問題が山積している。公共施設再編については、新しい世紀になり、過渡期である。交付税制度はあるが、依存する時代ではない。今までは成長し施設数も増えてきたが、施設を維持するという財政面を見ると、将来30年にわたり人口減少が進み、企業誘致の見通しも不明である中で、公共施設の将来的なお金のあり方が厳しくなる懸念も含め、改革は大変なことだが、行政と市民が一緒になってどうしていくかということを考えていただきたい。市民の中には、「なぜ公共施設が減っていくのか」「税も負担しているのにも関わらず、行政のあり方がおかしいのでは」と考える方もいるかもしれない。公共部門と個人の生活の間を介在するものとして、お金のあり方や、今後公共施設が増えていくのか縮小してしまうのか、どうすれば良いのかを考えることが大切な時代である。

(回答)

人口減少に伴い、収入減も見込まれる中、全国的に多くの自治体が抱えている課題である。本市は公共施設が多く、財政が苦しいから削減しなければならないという側面と、一方で公共施設は市町村合併により過剰にあるという側面がある。財政規模に比して施設を持ちすぎとも言える。ご指摘の通り、このままでは362施設の更新費や修繕費を維持するのが難しい中で、この計画を策定しようとしている。施設を削減することにより、更新費や修繕費等を直結して削減でき、それに伴い人件費も同様に削減できる。削減というと行政サービスの低下と感じるかもしれないが、複合化し1ヶ所で複数のサービスを受けられるような充実した施設を整備していきたい。財源については、資料1のP27「財源確保の取組に記載している。不要となった施設の売却や民間の力を借りた効率の良い運用、受益者負担の見直し等を考えていきたい。

- 行政がどこまで行うかは、これまで財産を守るところからスタートをし、高度経済成長を経て、様々なサービスが拡充されてきたが、流れが変わってきている。守備範囲の見直しは必要だと言われながらも政治学で最近注目されているのは「非難回避の政治」で、日本、先進各国で行われがちと言われている。非難を浴びる決定はなるべく先送りをする考え方である。パブコメで、国とは違い地方自治体なので独自の判断ができるのでは、というご意見があった。公共施設について、市は緻密な分析をしているが、分析をした上で国の言うように本当に危機的な状況なのか、北杜市と照らしてどうなのか、客観的に示そうというところに総合管理計画・個別施設計画の意義がある。一方で、市としてはこれが最善のスタートとしているが、パブコメでは様々な懸念も示されている。今後は進めていく際に、個別施設ごとに委員会や市民説明会を行っていくと回答しているが、情報をしっかり共有し、その進捗状況も丁寧に定期的に説明し情報をできるだけ共有していく中で、市が正しいと判断していることを市民がどう考えるか。その後、あまり計画を修正すると計画自体が成り立たなくなるが、計画の枠組の中で、状況変化に応じて修正の要望や市民の声を拾いながら市民参加の丁寧な進捗管理をし、非難回避をせずに決定したことを活かしていくことが正しい道と感じている。策定後の方が大事になるので、進捗管理を行う中で所管

課に住民の意見を取り入れてもらい、また、パブコメに関しては計画の大枠は変えがたいので、原案通りという回答が増えがちだが、この声自体は様々な検討の場で全体あるいは所管課で意識をし、懸念と不安の解消に繋がるよう模索していく材料として活用していただきたい。

- 今後の進捗管理が非常に重要になる。特に、個別計画は非常に長いスパンであるため、管理職にとっては、この計画を推進していくということが非常に重要になってくる。個別計画の中には、随所に今後の進捗管理の場として「行政改革推進委員会」が掲載されている。事務局や行政改革推進本部での議論の中で、この個別施設計画に則った施設削減の話が出ると思うが、数値上のみで満足するつもりはない。施設の削減によって市民の皆さんのサービスの低下や地域活動の減退への不安が大きくなる。施設削減の際に、市が保有するあらゆる資源を活用し、施設削減に対して穴埋めすることが重要である。例えば、体育施設を1つ削減したら、代わりに他の施設を活用してもらうことになるが、活用するには交通手段も必要であり、代わりとなる施設の内容も吟味する必要がある。そのことを十分踏まえて、サービスの低下が起これないようにしていただく必要がある。行政改革推進委員会では、そのような所もチェックしていきたい。執行部の皆さんも同様の視点で今後の進捗管理をお願いしたい。

(回答)

進捗管理については、資料で説明をさせていただいた。今後はただ削減するだけでなく、代わりの施設へ行く場合の交通の充実が必要であると考えている。今回の計画の中では、現段階で方向性検討といった施設が多々ある。今後施設を検討していくにあたり、利用者、市民、関係者等のご意見を聞き必要なものを集約し充実させていく必要がある。

- 資料5の別紙2はタイトルが「一覧表」、進捗管理の資料5の表紙は「保全台帳・修繕履歴」と書かれているが、この内容で表紙になる予定なのか。別紙1は「進捗状況調査票」で名称が合っているが、別紙2の資料名が違うのは何か意図があるのか。

(回答)

本来は「施設管理状況修繕等履歴」で、別紙2が正答である。

- 進捗管理について、資料5のロードマップの③にて「定期的に点検・診断の実施」をすることということで、個別施設計画でも令和4年7～8月に行ったと書かれているが、今後は劣化度調査を含めた定期的な点検・診断はどのくらいのスパンで実施することを想定しているのか。担当課のそれぞれのペースなのか、ある程度統一して行う予定なのか。せっかく計画を作っても1回で終わりとなりがちだが、作ったことを出発点として、こうした色々な台帳等の整理の基礎が出来たのはとても大きいので、活かされる形で定期的な更新がされるよう進めていただきたい。

(回答)

目視による日常点検については、指定管理施設であれば指定管理者と職員が赴いた際に行う。昨年度実施の劣化度調査については、毎年では担当者の負担が大きく、1年間で劣化も進まないと思込まれるので、期別の半分ということで4年～5年に1回実施出来れば良いと考えている。

- 資料1のP194に関して、例えば2行目や3行目に、年間予算の見込額として期間中28年の総額から書かれていて、その後の括弧の中で初めて年単位の金額が出てくるので分かりにくい。表

現の修正が必要であれば事務局で調整いただきたい。次に、資料5 別紙3、第1期の初年度と前期、最終年度には再び総合管理計画の検討委員会を立ち上げて検討することになっている。28年を3期に分けているが、1期目、2期目の終了時にも大幅な計画の見直しと改定作業があると思われるが、この時もパブコメ等の市民参加を含めて検討されるのか。または内部で行う予定か。

(回答)

改訂の内容にもよると考えている。例えば、大きな目標である面積の削減や将来の財政状況において、将来の更新費用、現在22億円と定めているが、その上限額に変更が生じるなど大きな部変更が出れば、パブコメの実施が必要だと考える。

- 重要な計画なので、変更が軽微に留まらない場合はパブコメを行っていただきたい。ただ、パブコメを行うか市民参加は不要ということではなく広報誌やホームページ等で定期的に掲載するなど情報共有等はこまめに行い、丁寧な周知と理解等、一定の汲み上げを行っていただきたい。

## (2) 北杜市公共施設個別施設計画策定における提言書(案)について

委員からの意見要旨は以下のとおり。

- この計画は28年間の長期で、3つの期に分けている。改訂等も行われるが、計画全体は28年間を見据えた作りになっている。長期にわたる計画で委員の皆様にも丁寧な説明を行っていく中で、市役所だけではなく、市民も関わって改訂していく必要がある。こうした点を踏まえ、委員会として重視している今後の進捗管理等で意識していただきたい点について、提言書案としてまとめて提出したい。特に能登の地震などもあったことから、地震を特に意識する形で災害対応の観点を強調して提言書案をまとめた。
- 提言書案は6項目あるが、もっと簡素にしても良いのではないかと。1と2の「本計画の周知に努めること」はその通り。市職員の皆様であれば、地域差はなくできるかと思うが、それでも大変なことだと思われる。緊張感を持って丁寧な説明をしていくという部分では、パブコメには出ていない地域感情みたいなものも出てくるのではないかと。1~6の内容についてエネルギーを使うと思われるので、事務局をはじめ自分自身も力になりたいと考えている。
- 提言書は委員の総意として上村市長へ提言するものなので、上村市長にも今の発言をしっかりと受け止めていただきたい。
- 4の最後「避難所の確保など多角的に多面的な視点で全庁横断的に推進すること」とあり、全庁横断的というところが非常に重要。避難所が廃止された場合、「近隣に避難所の確保が可能であるか、建物を譲渡する場合は避難所の開放を条件とするなど検討を行ってまいります」と回答している。私の住む地区は、小学校が既に譲渡されている。災害が起きた場合、今までは小学校が避難所になっていたが、今は避難所として使えない状態である。何かあった時は支所が避難所になっている。そういうことから消防防災課と例えば管財課と一緒に推進していただくと市民の命を守るという点では、非常に重要だと思う。この「全庁横断的」という点を強く推したい。

- 「本計画の周知に努める」ということだが、市民には概要版を渡すということか。概要版だけで市民の方が理解できるかどうか。特に今回の計画だけでこれだけのパブコメを頂いたため、概要版が出ればもっと市民からの意見が出ると思うので、親切丁寧な説明をお願いしたい。

(回答)

計画書本編も公表することになるが、ページ数も 240 ページ程になるので、まず計画の概要を知ってもらうために、概要版を作成している。公表にあたっては、この 2 つを HP に公表する。

- 広報誌では「計画を策定しました」ぐらいの扱いなのか。もう少しページは割けそうか。

(回答)

基本的には HP での掲載を考えているが、個別計画の策定にあたっては、昨年 2 回、市の広報にて周知を行っているので、早い時期に、まずは「策定した」ということを掲載する。また、状況を見てシリーズ化できるようであれば、今後、考えていきたい。

提言書は、案のとおり承認され、今後改めて正式な形で市長宛に提出していただくことに決定。

### (3) その他

- 今回の素案の内容で問題ない。公共部門の役割の変化の中で今回やや縮小、ネガティブな側面を市民の皆様にご提供する可能性もある。しかし、今後の未来に向けて北杜市としてどのようなことを行っていくか、なかなか見えない部分もある。今回は行政改革もセットになり、将来に向けて調整しながら必要なことを行っていくことでプラスとしてお金も使っていく、という方向性を是非示していただき、少子高齢化のことだけではなく、他の自治体がやっていないことをこれからやっていく、というメッセージがあれば是非お願いしたい。

(回答)

まさに図書館の議論が該当するが、縮減するのではなく 3 館の機能強化と他の 5 館も機能を強化していくつもりで取り組んでいる。1 つ 1 つの施設の価値を高めていくことを行っていきたい。公共施設は 20 年、30 年経つと時代にそぐわないものも出てくる。そこを柔軟に今と先の時代に合った形に変えていくことが非常に大事だと思っており、再編をしていくことが我々に課された使命だと考えている。

- 委員からも「全庁横断的」という発言があった。進捗管理は推進本部で実施可能であるが、推進本部はどちらかというと下から積み上げた最終的な報告の場で終わることが多い。本件に関しては推進本部で「全庁横断的」が図られるよう是非統括して司令塔として運営していただきたい。

事務局より、本日の検討委員会等含めて計画の最終確認を行い、3 月開催予定の庁内の北杜市公共施設等総合計画推進本部を行い、計画策定とすること、また、計画書については、印刷製本が出来次第、各委員の皆様へ郵送させていただくこととすることを説明。

### 5) 閉会 [15:10]

以上